

# 若狭エネ研 「平成25年度 国際原子力人材育成コース」の結果概要

平成26年2月4日

(公財)若狭湾エネルギー研究センター

# 研修の背景と目的

文部科学省「原子力人材育成等推進事業費補助金(国際原子力人材育成イニシアティブ)事業」

平成23～25年度 若狭エネ研・福井大学が連携して実施  
「福井の人材育成機能等を活用した原子力の安全・国際協力に資する人材育成」

各種研修等の取組

## ○国際原子力人材育成コース

目的: 社会人等を対象として原子力の国際情勢等の研修を実施し、国際感覚を備え、原子力安全等の国際的共通課題について知見を有する人材を育成する

# H23研修の状況(1)

## Plan(カリキュラム)

### 平成23年度国際原子力人材育成コース カリキュラム

	9:00~	10:00~	11:00~	12:00~	13:00~	14:00~	15:00~	16:00~	17:00~	18:00~
3/21 (水)	開講式  <L-1> IAEAと日本  [町末男 (元IAEA事務次長)]	討議  <L-2> IAEAの保障措置と日本  [Dr.Davis Hurt (IAEA東京地域事務所所長)]	討議	昼食	<L-3> 核軍縮  [阿部 信泰 (元国連事務次長(軍縮担当))]	討議	<L-4> 米国の原子力政策と計画  [ Mr. Jeffrey Miller (アメリカ大使館Energy Attache)]	討議		
3/22 (木)	<L-5> ステークホルダーとの関係(ハブリック・アクセプトランス)  [Mr Brian Molloy (IAEA, Technical Head, Nuclear Power and Engineering Section)]	討議	<L-6> 原子力発電をめぐる日本の国際協力  [山地秀樹[外務省 国際原子力協力室首席事務官]]	討議	昼食	<L-7> 国連と日本  [高須 幸雄 (前国連代表部大使)]	討議	<L-8> 持続可能な開発に向けた原子力～東京電力福島第一事故後における原子力の世界的な潮流と日本～  [町末男 (元原子力委員会委員)]	討議	参加者による発表
3/23 (金)	<L-9> Power Up Your English!  [Prof.Dylan Jones (福井大学 教育地域科学部 准教授)]	討議	<L-10> ベトナムの歴史と文化  [Mr.Nguyen Viet Anh(クエン・ウイ エット・アイン) (ベトナム大使館 領事)]	討議	昼食	<L-11> フランスの原子力政策と計画  [Mr. Christophe Xerri (フランス大使館 原子力参事官)]	討議	<L-12> 科学技術政策  [和田 智明 (東京理科大学特命教授)]	討議	参加者による発表 閉講式

## Do(参加者)

社会人(電力、研究機関、メーカー等) 28人





一部の講義について  
大学生 8人  
高校生 45人

# H23研修の状況(2)

## Check(アンケート結果)

研修の各講義を対象として、アンケート調査を実施。

次の項目に対して5段階評価（5：最良～1：最悪）の平均値

○テキスト等の教材は適切だったか		4. 3
○研修は理解できたか		4. 2
○業務に対して有益か		4. 0
○質問のしやすさ、回答は適切であったか		4. 1

## 受講生の主なコメント

- ・参考になったとのコメントはあったが、改善要望意見が多数寄せられた
- ・中でも、3日間は長いとのコメントが多かった
- ・また、プラント技術、地域共生、原子燃料サイクル等々、幅広いテーマの追加要望があった

## Action(H24へ)

- ・要望等については反映の可能性について検討しH24の計画を立案
- ・特に日数が長いとの意見は多く、対応が必要

# H24研修の状況(1)

## Plan(カリキュラム)

### 平成24年度国際原子力人材育成コース(2013/3) カリキュラム

	9:00~		10:00~		11:00~		12:00~		13:00~		14:00~		15:00~		16:00~		17:00~	
	開講式	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義	講義
3/21 (木) 1日目 9:00~ 17:00		<L-1> アジア太平洋地域のエネルギー政策の現状と展望 [藤富 正晴 (元(財)日本エネルギー経済研究所アジア太平洋エネルギー研究センター所長)]	討論		<L-2> フランスの原子力政策と計画 [Mr.Eric Simon (フランス大使館 原子力参事官補佐)]	討論		昼食		<L-3> 原子力発電をめぐる日本の国際協力 [長沼 善太郎 (外務省 国際原子力協力室 交渉官)]	討論		<L-4> IAEAの保障措置と日本 [Dr.Davis Hurt (IAEA東京地域事務所所長)]	討論				
3/22 (金) 2日目 9:20~ 17:50		<L-5> アメリカの原子力政策と計画 [Mr. Jeffrey Miller (アメリカ大使館 Energy Attache)]	討論		<L-6> 持続可能な開発に向けた原子力 [町 末男 (FNCAコーディネーター)]	討論		昼食		<L-7> ベトナムの社会と産業－現状と将来－ [Nguyen Viet Anh (グエン・ヴィエット・アイン)ベトナム大使館領事]	討論		<L-8> Power Up Your English! [Dr.Dylan Jones (福井大学 教育地域科学部 准教授)]	討論		ディスカッション <テーマ> 将来のエネルギーをどうするか? [町 末男 (FNCAコーディネーター)]	閉講式	

□ は高校生参加講義

## Do(参加者)

社会人(電力、研究機関、メカ等)  
25人

一部の講義について  
大学生 7人  
高校生 27人

# H24研修の状況(2)

## Check(アンケート結果)

研修の各講義を対象として、アンケート調査を実施。  
次の項目に対して5段階評価（5：最良～1：最悪）の平均値

○テキスト等の教材は適切だったか	➡	4.3
○研修は理解できたか	➡	4.2
○業務に対して有益か	➡	4.1
○質問のしやすさ、回答は適切であったか	➡	4.0

### 受講生のコメント

- ・改善要望意見では実施時期を年度末を避けてほしいとの意見が多かった
- ・目的を絞った内容が良いとの意見等があった

## Action(H25へ)

- ・要望については反映の可能性について検討しH25の計画を立案
- ・特に実施時期(年度末)の見直しについては意見が多かった

# H25研修の状況(Plan-カリキュラム)

## 平成25年度国際原子力人材育成コース(2013/12) カリキュラム

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
12/16 (月)	開講式		<p>&lt;講義-1&gt; 福島第一事故後の原子力エネルギー動向</p> <p>[町末男 (FNCAコーディネーター)]</p>	休憩	<p>&lt;講義-2&gt; フランスの原子力政策と計画</p> <p>[Mr. Thibault Clement(ティボー・クレマン) (フランス大使館 原子力参事官補佐)]</p>	<p>昼食</p>	<p>&lt;講義-3&gt; トルコの文化とエネルギー</p> <p>[Mr. Ibrahim Cetinkaya (トルコ大使館 一等書記官)]</p>	休憩	<p>&lt;講義-4&gt; イギリスの原子力政策と計画</p> <p>[Mr. Richard Oppenheim (イギリス大使館 一等書記官)]</p>	<p>&lt;講義-5&gt; アメリカの原子力政策と計画</p> <p>[Mr. Jeffrey A. Miller (アメリカ大使館 エネルギーアタッシュ)]</p>	

# H25研修の状況(Plan-H25計画の要点)

○日数は2日間のままであるが、時期を年度末から変更した

○近い将来の日本の原子力関連の諸外国の進出を考慮して、  
各国大使館職員による講義を増やした

ただし、  
講義内容について、原子力先進国と新規導入計画国とでは、  
切り口を変えて頂くこととした

→ 原子力先進国（米、英、仏）  
現在の原子力政策、今後の取組等について

→ 新規導入計画国（トルコ、ベトナム、インド、サウジアラビア）  
歴史、文化について  
エネルギー事情・見通しについて  
原子力の導入・開発の計画について



# H25研修の状況(Do実施)

電力、メーカ、研究機関等の職員29人 参加  
英語力や国際性向上のため、高校生51人、大学生・大学院生8人が一部聴講

# H25研修の状況(Check)

実施後のアンケート調査結果（5点満点の平均）

○社会人及び学生（大学生、大学院生）

テキスト内容 : 4.1  
理解度 : 3.8  
仕事への有益度 : 4.1  
質問のしやすさ : 3.8  
(合計 : 15.8)

○社会人/学生（大学生、大学院生）別アンケート結果

テキスト内容 : 4.2/3.8  
理解度 : 3.9/3.5  
仕事への有益度 : 4.1/3.9  
質問のしやすさ : 3.8/3.7  
(合計 : 16.0/15.0)

# H25研修の状況(Check-まとめ1)

## 研修の評価

### ○カリキュラム

- ・平成24年度に比べて今年度は、近い将来の日本の原子力関連の諸外国の進出を考慮して、各国大使館職員による講義を増やした。アンケート結果からは、各国の状況がまとめて聞いたことや普段あまり聞くことのない国の状況が聞いて有益であったとの反応が多かった

### ○テキストの内容、仕事への有益度、理解度、質問のしやすさ

- ・アンケート結果では、平均で概ね4点（5点満点）と、全般的に高い評価が得られた。
- ・テキストや質問のしやすさについては、各講師とも図表を多用する等工夫をしていただいたことや丁寧に質問に答えていただいた結果であると考えている。
- ・また、理解度や有益度については、普段の業務では聞く機会の少ない国々の状況がまとめて聞けるということで理解が進み、また英語力向上の意味でも有益であったという意見が多かったように思われる。

# H25研修の状況(Check-まとめ2/Action)

## ○社会人と大学生

- ・アンケート結果の点数では、「テキスト内容」と「理解度」に開きが見られる。ただし、コメントからは、大学生からは英語力不足や向上についての意見が多く、社会人からは内容についての意見が多かった。
- ・社会人と大学生とでは関心の対象が異なることで、評価している「テキスト内容」と「理解度」の意味が異なっている可能性がある。大学生を受講対象者とする場合には、社会人とは別にアンケート項目を工夫する等して、ニーズを確認する必要があると思われる。

## ○日数

- ・今年度も2日間で実施した。頻度多くとのコメントはあったが、日数に関するコメントはなく、2日間が最適と思われる。

## 今後について

有意義な研修であるという評価が得られたため、さらに企画検討を進め、次年度以降も継続したいと考えている。